



箕面小だより



箕面市立
箕面小学校
令和7年(2025年)
5月号

学校教育目標
めざす子ども像
めざす学校像

支え合い、ともに伸びゆく箕面小っ子

ともに考える子(知)、ともに高め合う子(情)、ともにやりぬく子(意)

○あいさつと笑顔であふれる学校

○思いやりと優しさが感じられる学校

○高学年が在校生の「あこがれ」の存在となる学校

○保護者・地域とともにあゆみ、信頼される学校

いのちを預かるということ

校長

新年度がスタートして3週間が過ぎようとしています。新しい学年、教室にも少しずつ慣れてきて、先生と子どもたちがともに学び合う朗らかな声が聞こえてきます。一方で、新しい環境下で緊張感とともに、頑張ってきた子どももたくさんいたことでしょう。おうちでも引き続きお子さんの日々の様子を見ていただき、不安を抱えていることがあればいつでも学校にご相談ください。

少し時間は遡りますが、本校では4月初旬、始業式を迎える前に、必ず不審者対応訓練をおこないます。この4月は、「刃物を持った不審者が、子どもたちを傷つけようと授業中の学校へ侵入してきた」という想定です。それぞれ教職員は日頃過ごす場所に分かれて、普段通りに過ごします。不審者がいつどこから侵入してくるかは事前には知らされていません。数分後には、学校中に不審者侵入のベルが鳴り響き、一気に緊迫した雰囲気になります。

「みんな教室に入って扉を閉めなさい!」「不審者2階に行った!」「けが人、階段にいます!」など教職員の大きな声、校内放送が交錯します。警察への連絡、救急搬送の連絡、病院への引率者の指示、保護者対応、安否確認、不明者捜索…。それぞれの教員が自分の役割を果たすとともに、状況に応じて臨機応変に動かなくてはなりません。訓練が終わった後は、全員で振り返りをします。「不審者がどこにいるかわからない時間があった」「けが人の情報が錯綜した」「どこに搬送されたのか本部で確認できていない」「同じところを何度も探すことになった」…とめどなく反省の声があがります。毎年、おこなっていても反省のない完全な動きはできません。

このほかにも、食物アレルギーなどに対する緊急対応の訓練、各教室の安全点検、個別対応が必要な子どもの共有、一人ひとりの子どもの引き継ぎ、年間の授業計画、学年・学級の経営方針…。子どもたちが来る前のこの時期、できる限りの準備をします。毎年、教職員の入れ替わりがあり、メンバーは変わります。これらの時間は、言葉を変えれば、『子どものいのちを預かる』とはどういうことかを新しい職員集団全員で確認するための時間でもあると考えています。

子どもたち一人ひとりが、安心して楽しく学校生活を送れるよう今後も努力してまいります。日々、刻々と変化していく子どもたちです。十分な対応にいたらないこともあるかもしれませんが。そのたびにわたしたちは、真摯に反省をして、知恵を出し合い、より良い方向へ進んでいけるように修正していきます。保護者の皆様、地域の方々、引き続きお力をお貸しください。箕面小学校の教職員一同、『子どものいのちを預かる』重責に喜びと誇りを持ち、子どもたちへの教育を推進してまいります。よろしくお願いたします。